

【リデュース】（軽量化・薄肉化）

①一本当たりの重量変化

2017年実績として、基準年（2004年）対比で1本当たり2.2%の軽量化がはかられた。1本当たりの単純平均重量は、基準年（2004年）の192.3gに対し、2017年実績は177.2gと7.9%（15.1g/本）の軽量化がはかられたが、これにはびん容量構成比の変化が含まれているため、その要素を除いたネットの軽量化率は2.2%（4.2g/本の軽量化）となった【表1参照】。残りの5.7%（10.9g/本）はびん容量構成比の変化によるものである。なお、基準年（2004年）対比での軽量化による資源節約量は、2013年～2017年の5年間で、96,757トン（100mlドリンク剤びん換算 9億1626万本）となった。

【表1】 1本当たりの平均重量推移

	2004年 (基準年)	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
生産本数（千本）	7,262,950	6,539,754	6,447,949	6,389,736	6,417,523	6,226,485
生産重量（トン）	1,396,582	1,180,180	1,158,682	1,154,359	1,149,118	1,103,207
単純平均重量(g/本)	192.3	180.5	179.7	180.7	179.1	177.2
単純平均軽量化指標	100.0	93.8	93.4	94.0	93.1	92.1
ネット軽量化率指標 (加重平均)	100.0	98.3	98.6	98.5	98.5	97.8
軽量化率(加重平均)		▲1.7%	▲1.4%	▲1.5%	▲1.5%	▲2.2%
軽量化による 資源節約量(トン)	—	20,410	16,452	17,579	17,499	21,817

②軽量化実績

2017年に新たに軽量化された商品は、8品種14品目であり、軽量化重量は581トンであった。2006年から2017年までに軽量化された商品は、11品種246品目となった【表2参照】。なお、軽量化実績の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表2】 2006年から2017年までに軽量化された品目

品 種	のべ品目数
小びんドリンク	小びんドリンク（8品目）
薬びん	細口びん（2品目）、広口びん（2品目）
食料品びん	コーヒー（17品目）、ジャム（13品目）、粉末クリーム（2品目）、蜂蜜（1品目）、食用油（6品目）、食品（7品目）
調味料びん	たれ（7品目）、酢（13品目）、ソース（2品目）、新みりん（1品目）、醤油（2品目）、つゆ（8品目） 調味料（14品目）、ドレッシング（13品目）、ケチャップ（1品目）
牛乳びん	牛乳（5品目）
清酒びん	清酒中小びん（29品目）
ビールびん	ビール（10品目）
ウイスキーびん	ウイスキー（5品目）
焼酎びん	焼酎（22品目）
その他洋雑酒びん	薬味種（1品目）、ワイン（22品目）、その他（8品目）
飲料びん	飲料ドリンク（7品目）、飲料水（2品目）、炭酸（3品目） ジュース（6品目）、ラムネ（2品目）、シロップ（1品目）、乳酸（1品目）